

## 天皇陛下より幣帛料 天皇・皇后両陛下より幣饌料を賜る



揮毫 中野幸彦多賀大社名誉宮司

滋賀県護国神社  
県民奉賛会

発行所

滋賀県護国神社社務所  
〒522-0001 彦根市尾末町1番59号  
電話 0749(22)0822  
印刷 近江印刷(株)

天皇陛下には、全国の護国神社で終戦八十年臨時大祭が斎行されるにあたり、特別の思召しを以て旧指定護国神社五十二社に幣帛料<sup>へいはくりょう</sup>を御奉納遊ばされることを仰せ出され、七月十日、宮内庁で伝達式が執り行われました。また、天皇・皇后両陛下には、第七十九回国民スポーツ大会御臨場併せて地方事情御視察のため九月二十八日から二十九日にかけて滋賀県に行幸啓遊ばされました。この行幸啓にあたり、県内の旧官幣社及び旧指定護国神社に幣饌料<sup>へいせんりょう</sup>をお供えされる旨仰せ出され、二十八日の午後六時、行在所<sup>あんざいしょ</sup>のびわこホテルにて侍従長より幣饌料の伝達がありました。



十月一日の永代命日祭ご遺族ご参列のもと、天皇皇后両陛下幣饌料御下賜奉告祭を、十月五日の秋季例大祭に併せて終戦八十年天皇陛下幣帛料奉幣臨時大祭をそれぞれ斎行いたしました。誠にありがとうございました。で、ご英霊もさぞかし喜びのことと存じます。この慶事を糧として天皇陛下の大御心を体し、神社の護持奉斎に努めて参りますので、皆様方の倍旧のお力添えを賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

## 就任のご挨拶



滋賀県議会  
第一〇五代 議長  
滋賀縣護國神社  
県民奉賛会 会長  
目片 信悟

この度、滋賀縣護國神社県民奉賛会の会長に就任させていただきました。改めて先の大戦で命を落とされました御英霊に心を寄せ、これからしっかりと務めさせていただきます。

そして滋賀縣護國神社県民奉賛会として、広く県民の皆様と一緒に様々な事業を展開し継続させていただければ、と願っております。

世界の恒久平和と国家の安寧、県民の幸せの実現のため、私も力を尽くしてまいります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



## 戦後八十年の年に



滋賀縣護國神社宮司  
山本 大司

三月十六日付けにて神社本庁より宮司を拝命いたしました。もとより浅学菲才の身でありますので、皆様方のご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

さて、本年は大東亜戦争終結より八十年の節目の年を迎えました。この節目の年に、天皇陛下より幣帛料を、天皇・皇后両陛下より幣饌料を賜ることができましたことは、大変有り難いことでありました。夏のみたま祭期間中には例年に増して若い方々の参拝が多く見受けられ、八月十五日の終戦記念日にもご遺族崇敬者を始め、県内選出の国会議員や県議会議員の方々、多くの護國神社に想いを寄せる皆様方にご参拝いただきました。一年を通じて、多くの皆様方からのご厚志に心より厚く御礼申し上げます。

私は平成十四年に滋賀縣護國神社に奉

職いたしました。その頃はまだ遺族会婦人部の皆様のご存命であり、毎月の永代命日祭には婦人部の方々のご参拝がありました。永代命日祭奉仕中に一人のご婦人が涙されたことがありました。「どうされたのですか」とお尋ねすると「亡くなった夫が会いに来てくれた」とのことです。ご婦人の足元に一匹の蟻がいたとのことで、「夫が蟻となって私に会いに来てくれたのです」と、そのご婦人はお話になられました。「ただの蟻ではないか」そう思う方もおられるかもしれませんが、ご遺族、特にご自身の大切な夫を戦争で失ったご婦人には、ご英霊の声なき声がきくと聞こえたのでしょうか。

戦後八十年が経ち、婦人部の方々も鬼籍に入られ、現ご遺族の方々も超高齢となり、護國神社を取り巻く環境は厳しさを増しております。しかしながら、護國神社は國を護る神社であると同時に、私達自身も護っていただける神社、ご英霊が一人一人の人生を後押しして下さる神社であると広く一般の方々にも認識していただき、崇敬者の裾野を広げていきたいと存じますので、今後とも護國神社の護持にお力添えを賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。





## 終戦八十年天皇陛下幣帛料奉幣臨時大祭を斎行

十月一日午前十一時、永代命日祭にあわせて天皇・皇后両陛下より御下賜いただいた幣饌料を御神前に奉り、ご遺族参列のもと「天皇皇后両陛下下幣饌料御下賜奉告祭」を斎行いたしました。



## 天皇皇后両陛下下幣饌料御下賜奉告祭を斎行

十月五日午前十時、秋季大祭にあわせて「終戦八十年天皇陛下下幣帛料奉幣臨時大祭」を斎行いたしました。祭典では、天皇陛下より御下賜された幣帛料を入れる唐櫃からびつを奉輿ほうよする所役に、一般財団法人滋賀県遺族会青年委員会より喜多正幸様と川崎謙次様にご奉仕いただきました。ご神前に奉る献茶は、一般財団法人滋賀県遺族会女性委員会より藤井貞子様にご奉仕いただきました。当日は雨儀となりましたが、おかげ様で厳粛に祭典を斎行でき、本大祭斎行につきましてご尽力いただきました関係各位に厚く御礼申し上げます。



火の用心札のデザインを変更いたしました。文字を彦根市在住の書家川村啓子様を書いていただき、漢字を「用心」から「要慎」と改めました。「火を慎重に扱うことを要する」という意味となり、生活で扱う火に対して畏敬の念を持って接していただく戒めの教えが込められています。

## デザイン変更のお知らせ

## 英霊顕彰館拝観者の声

## ※記帳順に掲載

地球が太陽の周りを一周して迎えた新しい二〇二五年、戦後八十年、昭和百年の節目を御英霊の御加護の元無事に生かされている今を感謝し、共に生きよう、明日の幸福を願って

竜王町 男性

台湾から参りました。今は静岡県で生活しております。この正月に彦根に旅行で訪れました。今年を無事に過ごせますよう宜しくお願い申し上げます。お守りください。

台湾 女性

今日は父の月命日。昭和二十年五月五日沖縄で戦死、三十歳でした。私が二歳の時祖母・母との三人暮らしが始まりました。平和な今、家族に恵まれ今年八十二歳になります。平和な毎日に日々感謝です。

東近江市 男性

戦後八十年今年も穏やかな年でありますようにどうかお守りください。

東近江市 男性

新年明けましておめでとうございます。こうして無事に迎えられたのも偏に英霊の方々のおかげです。ありがとうございます。今年も一か月に一回は英霊顕彰館に來させていただきます。では：

彦根市 男性

皆様、どうぞ安らかにお眠りください。身の引き締まる思いです。当たり前の現状に今一度考え、「ありがたい」の気持ちを持って平和な日本であり続けられるよう努力してまいります。

甲賀市 男性

戦争無法消滅 世界述仍在努力 祈盼終能和平（戦争は消し去れないが、世界はそれでも努力を続けている。いつか平和が訪れることを祈る。）

昨年十二月五日滋賀県志賀町出身の天川清三郎命の遺留品（寄せ書きの日章旗）を京都市右京区にお住いのご遺族に返還することが出来ました。天川清三郎命（京都平安中学校投手 夏の大会で全国優勝 プロ野球南海軍入団 応召後フィリピンレイテ島にて戦死）

京都市 男性

日本を護って下さった彼らが安らかにお眠り下さいますように：最後まで戦って下さりありがとうございます。

男性

昨日の三月十一日は東日本大震災が発生した日から十四年が経過しました。それから日本各地では地震・大雨・台風等の自然災害が発生し甚大な被害があります。復興にむけて多くの人が支援救助に努力しています。まだまだ道のりは遠いかもしれませんが、平穏な日々が迎えられる事が出来ますように。

彦根市 男性



● 今年に入って久しぶりにここを訪れました。今年は戦後八十年の節目です。だんだん戦争を体験された方も少なくなりました。しかし、一人一人が戦争について知れば、これから何年たってもあの戦争が忘れられる事は無いと思います。そのために、自分も戦争について知り後世に伝えていきたいと思います。

滋賀県 女性

● 英霊の皆様に感謝・祖国敬愛

静岡県 男性

● 桜舞い散る中、参拝させていただきました。戦後八十年、命がけでこの国を守っていただいた英霊の皆様に感謝申し上げます。

山口県 男性

● 昨年母が九十八歳で他界しました。戦没者のおじの妹です。もう一人の妹は百歳になりました(私のおば)。おじ様方の尊い命のおかげで私達の今があります。世界の平和を願っています。ありがとうございます。

奈良県 男性

● 寄せていただけてうれしいです。高齢となり二人とも大病をして、毎日なんとか頑張っています。ありがとうございます。

長浜市 男性・女性

● ゴールデンウィークが終わり、いつもの日常生活に戻りましたが、こうして大型連休があるのは平和な世界だからこそです。ありがとうございます。

彦根市 男性

● 写真はいつ見ても若く元気そう。当たり前ですがみたまのおかげで元気に生かされてもらっており、感謝しかありません。

東近江市 男性

● 時代が少しずれていたら、英霊たちも「ふつう」に過ごせ、老いた姿も見ることができただろう。同じ日本国に生まれ、日本人・同胞が護って下さった日本を、たった戦後八十年で腑抜けになり、かの国に侵攻・侵略、ハイブリット戦略により、日本は落ちかけている。皇紀二六八四年の歴史を我々の世代で終わらせるわけにはいかない。拝観させていただきありがとうございます。

男性

● 英霊に恥じないような国にしていきたいです。

女性

● 父上、戦後八十年にしてやっとお仲間にお会いすることができました。良かったですですね。

女性

● みたま祭、提灯がたくさん並んでいます。今年は終戦八十周年。すべての英霊の方々へ、ありがとうございます。

彦根市 男性

● 初めておじいさんの御霊に会いに参りました。たくさん英霊を見て平和の尊さ、おじいさんたちの犠牲の上に築かれている幸せをかみしめました。守っていかねければいけない母は、父(祖父)に一日も会わずして生きてきました。優しい人です。今日も世界の各地で戦火が起きています。人が人を殺してはならない。人が人を守り、平和を守っていききたいです。

草津市 女性

● 奪い合えば足らぬ 分け合えば余る。幸せはいつも自分の心が決める。

英霊のご存在を将来に互い目に見える形で伝えていくため、英霊顕彰館は平成二十八年に開館しました。お写真掲揚・展示のお問い合わせは、社務所までご連絡下さい。



## 県民奉賛会総会のご報告

七月二十四日午前十一時より、令和七年度の定例総会が神社前ホテルにて開催されました。総会では各議案異議なく承認され、役員による会員加入の促進や、県遺族会・英霊にこたえる会と共同にて終戦八十年の啓蒙活動を行っていく事等が決議されました。

山本宮司からは、終戦八十年の節目の年により広く護國神社を理解していただけるよう、県民奉賛会の運営への協力を確認し、総会を閉じました。

## 令和6年度一事業報告

(自 令和6年6月1日～至 令和7年5月31日)

### 令和6年

- 7月4日 総会 彦根キャッスルリゾート&スパ
- 8月14日 みたま祭新聞広告2社(中日、京都新聞)掲載
- 10月5日 秋季例大祭 役員参列 滋賀縣護國神社
- 10月15日 近江のみたま発行(8,000部)
- 10月28日 御神符頒布式並びに全体役員会議 滋賀縣護國神社

### 令和7年

- 4月5日 春季例大祭 役員参列 滋賀縣護國神社

※神社奉納金 年間2回に分けて220万円を奉納

年間を通じ、会員の皆様方には大変お世話になり、誠にありがとうございます。

## 県民奉賛会会員現況

**会員数 3,417名**

(内 訳)

正会員 3,234名  
特別会員 29名  
終身会員 154名

(昨年度は3,746名)

令和7年7月現在

**このたび設立された県民奉賛会へご加入いただきますよう、宜しくお願い申し上げます。**

**※ご入会を希望される方は、地元遺族会役員又は直接護國神社へ申し出ください。**

## 申 込 書

※ご希望の所に☑を入れてください

### 正 会 員

☐ 個人

一口 年額1千円・一口以上納入

☐ 企業・団体・法人

一口 年額5千円・一口以上納入

### ☐ 特 別 会 員

一口 年額1万円以上納入

### ☐ 終 身 会 員

一時 10万円以上を納入

〒

ご住所

電話番号

お名前

〒522-0001 彦根市尾末町 1-59

滋賀縣護國神社県民奉賛会

☎0749-22-0822